

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、14名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



若者が明るく青春を過ごせる
まちづくりを!

加賀谷 勉 (公明党)



その他のテーマ

- ▶子どもたちを守る
- ▶日常生活における交通手段

◆安全な教育環境整備

①子どもに対する悲惨な事件への認識と教訓は。
②いじめ、不登校などを、学校、行政、地域が一体となり、「チーム学校」として総力を挙げて子どもを危険から守る体制は。

教育長 ①今年では中学生が犠牲となる事件が相次いで発生し、社会に衝撃を与えた。将来ある子どもが、人生にピリオドを打たざるを得なくな

ったことに、深い悲しみを共感する。

それぞれの子どものとにかかわりのある大人たちが、子どもの状況を把握しもっと手を差し伸べていけば、事件を未然に防ぐことができたのではないかと考える。今回の事件を教訓に、子どもの安全確保により一層取り組んでいく。

学校教育部長 ②これまでも学校、行政、地域が体制を整え相互に連携をして、子どもたちを危険から守るための取り組みを行っている。学校では、教師が児童生徒を一方的に指導するのではなく、相互に信頼関係を構築し、また児童生徒の声を大切に、ちょっとした変化も見逃さない体制づくりに努め、異変を察知した場合には迅速に対応するなど、児童生徒が事件などに巻き込まれないよう日々万全を期している。



放課後ナイトスクール
実現に向けて

笹本 英輔 (創政会)



その他のテーマ

- ▶児童生徒の学力の現状は?
- ▶放課後教室の実施に向けて
- ▶民間活力の連携・活用を

◆楽観視できない、児童生徒の現状

狭山市内の児童生徒の学力状況は。

学校教育部長 19年度から実施している全国の学力・学習状況調査では、27年度は小学6年生と中学3年生とも全国平均を下回る結果となり、特に小学6年生の結果が、全国平均に比べて厳しい結果となった。

◆放課後ナイトスクールの検討状況

放課後ナイトスクールの内容は。

市長 まず中学生対象に開設。全中学校区で地域の人材を活用し、土曜や長期休業日などに補習中心の学習機会を提供するよう、28年4月実施を目途に準備する。この取り組みのアピールは、若い世代の増加にもつながると考える。

◆「学力日本一のまち、狭山」の目標に向かって

目標「学力日本一」に向けた、市長の決意は。

市長 教育を通じ、子どもたちに夢と可能性をぜひ実現してもらいたい。学力日本一という大きな目標を掲げ、学力のみならず生活習慣や地域のかかわりなども踏まえて、日本一の教育環境づくりを目指していきたい。



将来の
夢や目標
に向かって!



若者に自立する足がかりを

望月 高志 (日本共産党)



その他のテーマ

- ▶市営住宅の同居親族要件
- ▶空き家の利活用について
- ▶埼玉石心会病院の移転工事

◆若者の住宅問題

①24年に公営住宅応募条件の「同居親族人要件」が廃止された後も若年単身者を受け入れない理由は。

②未婚・若年層の住宅事情は。

③社会を循環させるためにも、生活困窮若年層への住宅支援などを行う考えは。

都市建設部長 ①公営住宅法の改正で、同居親族要件を条例で定めるようになったが、本市の条例は法令を引用し、単身入居要件は従前のおり応募条件は変えていない。高齢単身者など入居希望者の約半数が入居できない状況のため、要件に該当しない若年単身者は認めていない。

総合政策部長 ②具体的な把握はしていないが、経済面を考慮すると親との同居が一般的で、

勤務先の都合や親からの独立を意図し、単身者は家賃が低廉なアパートなどに居住するケースが多いと考えられる。

③安価な物件も多数存在するので、住居費補助のような支援メニューは考えていない。総合戦略の検討に併せ、若い世代の定住促進策として、Uターン希望者の住宅購入費や市内への転入転居費用の補助制度を具体的に検討したい。



日本の平和は
憲法の堅持でこそ守られる!

猪股 嘉直 (日本共産党)



その他のテーマ

- ▶平和宣言都市の通年掲示を
- ▶ハクビシン対策を
- ▶北部地域にコミュニティ施設

◆平和に関する啓発活動

①平和宣言都市を三角塔などで通年掲示しては。
②図書館に平和コーナーの常設と市民の持つ戦争資料の研究についての考えは。

市長 ①各公民館や本庁舎エントランスホールなどへの壁面掲示に加え、毎年8月に本庁舎入り口の懸垂幕などへ掲揚しているが、通年掲揚できるか検討していく。

生涯学習部長 ②中央図書館は毎年8月に平和関連資料の展示を特集本コーナーで実施しているが、ほかの月もテーマ展示を行っているため、平和資料コーナーのみの常設化は困難。図書の配架スペースの一部を平和関連の常設コーナーにするのも、多様な利用者のニーズにこたえるためには難しい。8月以外で平和資料の問い合わせ

がある場合は、レファレンスサービス(資料を探す手伝い)の中で丁寧に対応していく。

市民の保管する資料は、編集の必要、所有者の同意、さらには個人情報への配慮などが求められるので、これらを検証する中で活用を検討したいと考えている。



那須塩原市の
「平和宣言の塔」(中央)

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。
04-2953-1111 内線3313